

虹技社長

山本 幹雄氏



大型鋳物や国内シェア75%を超えるデンスバー（連続鋳造鋳鉄棒）などの鋳物で4事業、送風機や都市ごみ焼却処理施設の建設などの環境関連で3事業を官民間わず展開している。兵庫県姫路市にある一拠点での鋳鉄

製造のプロセスの多さは世界に類を見ないほか、プレス金型鋳物の生産量は中国工場などを含めグループで世界一。今後は鋳物と環境の2本柱でグループを活性化させていく。

2021年は20年に比べて売り上げは伸ばしているが、原材料などの高騰で利益が出にくい。また中国では電気自動車（EV）が増えた影響で金型鋳物の競合が増え、原材料が上がっても価格転嫁できない状況にある。足元の業績は厳しいが、需要の戻りは感じているので売

り上げを伸ばしていく。環境関連でも焼却場などのメンテナンスの需要が増えている。

今後は22年4月から始まる第7次中期経営計画に向け、部門の付加価値にこだわる。ことなどを取り組む課題の一つに挙げた。その中で、カーボンニュートラル液化天然ガス（LNG）の使用を始めるなどの脱炭素に向けた動きや、各部門での工程の見える化などをするデジタル変革（DX）の推進、技能継承を含む人材育成に力を入れていく。